

指定管理者に関するモニタリングシート

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 8 年度)

施設の名称	東大阪市立児童文化スポーツセンター	指定期間	2 年度～ 21 年度
施設所管所属	社会教育部青少年教育課	指定の方法	複数施設を一括指定管理
設置目的	科学、文化及びスポーツを通じて人間性豊かな子どもの育成を図ることを目的とする。		
施設内容・業務内容等	施設の運営(常設展示室、プラネタリウム、スポーツホール等)、各種事業及び教室。		
指定管理者	東大阪花園活性化マネジメント共同体	連絡先	072-962-0211
人員体制	正規職員 4 人	パート・アルバイト 人	25 人 その他 8 人

2 管理運営状況等

年度		実績						今年度(予算)		次年度(見込)	
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度					
管理形態		指定管理		指定管理		指定管理		指定管理		指定管理	
供用(開館)日数		299		306		306		300		300	
指定管理委託料(千円)		115,820		112,469		112,549		120,393		119,924	
利用状況	1 入館者数(人)	349,667		409,362		395,715		補足説明			
	2 人口100人当たり入館者数(人)	73		86		83		補足説明			
	3							補足説明			

3 モニタリングの総括

施設ごとに定める評価事項((i)重視していた事項、(ii)要改善事項、(iii)期待水準・当初提案を大きく上回った取組、(iv)期待水準・当初提案を大きく上回った成果)及びチェックシートの評価から点数を算出し、下記のとおり評価する。

総合点が95点以上をS、80点以上94点以下をA、60点以上79点以下をB、60点未満をCとする。

4(i) 重視していた事項	7 点	/ 10点	総合評価	A
4(ii) 要改善事項	-3 点	/-10点		
4(iii) 期待水準を大きく上回った取組	0 点	/ 5点		
4(iv) 期待水準を大きく上回った成果	5 点	/ 5点		
5 チェックシートの総括	80 点	/ 80点		
上記の合計(総合点)	89 点	/100点		
総評 (全体評価や今後の課題)	新たな取組みを企画し、それを実行し、必要に応じて改善・修正等をしなが継続することで、施設の魅力や利用者の満足度の向上が実現できているように見受けられる。本施設の業務は多岐にわたるため、負担も大きいところだが、職員間でのノウハウや情報の共有にも努め、持続安定的な施設の管理運営に今後も努めてほしい。			

4 施設ごとに定める評価事項

下記(i)～(iv)の項目は、施設の状況に応じ、所管所属において自由に設定
(所管所属の評価がモニタリングの総括に反映)

(i) 所管所属が特に重視していた事項

評価対象年度(R7年度)において 特に重視していた事項・取組	施設所管所属コメント	評価点
リニューアルから3年目を迎え、プラネタリウムの利用者数の増減や投影内容・利用者満足度の向上に向けた取組	リニューアル後3年経っても利用者数が高止まりしており、利用時間帯の変更など利用者目線での取組が評価できる。解説および番組内容について、利用者のニーズや満足度を踏まえ、科学的な内容の充実などより設置目的に合致した取り組みにも期待する。	3
施設の設置目的を理解し、効果的な教育普及事業の企画・運営が行われているか。	人間性豊かな子どもの育成という設置目的に合致した多くの事業を企画し、その内容、回数等も十分である。キッズマネー教室など他施設にはない教室やコンサートや謎解きなどのイベントを無料や低価格で行うなど効果的な教育普及事業が行われていることは評価できる。	4

／5点

／5点

＜評価基準＞
5点:大変よくできている
(目標をはるかに上回る達成)
4点:よくできている
(目標を上回る達成)
3点:できている
(おおよそ目標どおりの達成)
2点:目標・要求水準には達していないが、取組は大いに評価できる。
1点:目標・要求水準には達していないが、取組は少なからず評価できる。
0点:目標・要求水準には達しておらず、取組も評価できない。

(ii) 要改善事項

主な改善指示事項(過年度からのものを含む)	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
教育普及事業において、科学系の教室をもっと充実させてほしい。	講師の選定が難しいことは理解するが、科学系(天文・生物など)の教室が増やせるよう、今後も検討をお願いする。	-3

／-5点

／-5点

＜評価基準＞
0点:改善し、求めていた状況・水準以上になった。
-3点:改善しているものの、求めていた状況・水準には達していない。
-5点:改善していない。

(iii) 期待水準・当初提案を大きく上回った取組

当初提案・期待水準を大きく上回った取組	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点

／5点

＜評価基準＞
5点:模範的かつ他施設への展開・波及効果が期待できる取組である。
3点:大いに評価できる取組である。
1点:評価に値する取組である。

(iv) 期待水準・当初提案を大きく上回った成果(※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの)

当初提案・期待水準を大きく上回った成果 ※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
	令和5年度以降の館全体の利用料金収入はプラネタリウムの料金改定、貸室等を差し引いても、当初予想の+17%～30%など大きく上回っており、広報も含めた運営手腕は高く評価できる。	5

／5点

＜評価基準＞
該当があれば5点、なければ0点

(配点対象外) その他特筆すべき事項

指定管理者による自主的な取組で評価に値するもの、突発的な事象発生時の迅速な対応など、特筆すべき事項	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)
	毎年、新しい教育普及事業や施設内の設備の充実に取り組んでおり、利用者数も増加していることは非常に評価できる。

配点対象外

5 チェックシートの総括

「個別評価」(自動表示) :

S=不適当がなく「得点」が95%以上

A=不適当がなく「得点」が80%以上、

B=不適当がなく「得点」が60%以上

C=不適当が1個以上又は「得点」が60%未満

モニタリングの観点	施設所管所属のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項、課題に対する取組など
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S (100 %)	施設の設置目的を十分に理解することはもとより、指定管理者として平等、かつ公平な施設運営を行い、「科学・文化・スポーツを通じて健全な子どもを育成する場、子どもたちが相互交流する事で成長する舞台」にするための運営を行っている。また、「楽しく安全に利用していただく」という目標のもと、日常の安全点検はもちろん、災害等発生時の危機管理についても、訓練等により十分な対策を行っている。月次報告書等の提出についても遅滞なく提出されている。
B 管理・運営 人員・施設の管理、会計処理等(再委託業務を含む)が適正に実施され、快適に利用できる施設環境が整備されているか？	S (99 %)	施設管理や運営に必要な人材を適材適所に配置し、経費の削減に努めるなど効率的な運営を行っている。 また、快適な利用環境を目指して、修繕・清掃・衛生管理・防犯対策に至るまで、きめ細かく対応している。ただし、暗証番号については、定期的に変更し、防犯対策に努めてもらいたい。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S (100 %)	全ての利用者が楽しく安全に利用できるよう、窓口や電話対応などの接遇や案内表示等には細心の注意を払っている。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S (100 %)	窓口等でいただいた利用者からの意見について、的確にかつ速やかに対応し、満足度の向上に努めている。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の削減が図られているか？	S (100 %)	施設の管理や事業の企画において、日頃から職員間で話し合いを行い、改善や向上、経費の削減に取り組んでいる。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S (100 %)	関連条例・規則等の理解・遵守のため、朝礼・会議などで折に触れて意識向上を図っている。